

社会福祉法人育桜福祉会 第1生活ホームいくおう

地域連携推進会議 議事録（公表）

以下の通り、地域連携推進会議を開催いたしましたので公表します。

開催日時	令和7年9月24日（水） 14時00分より15時00分まで	
会場	第1生活ホームいくおう	
運営事務局 （2名）	第1生活ホームいくおう 管理者	
	第1生活ホームいくおう サービス管理責任者	
参加者 （2名）	役割	立場
	入居者を代表する者	利用者 A
	障害福祉に知見のある者	連携施設（通所施設）家族会役員
欠席者 （3名）	行政担当者	麻生区地域みまもり保健センター担当
	利用者家族	利用者 B 家族
	地域の関係者	地域町内会 役員
議事内容		
1 開会の挨拶（趣旨説明） 初めに運営事務局より定刻で開会が宣言され、管理者より地域における居住の場であるグループホームは、障害のある方の住まいとして日々の生活を支援していること、暮らしの場であるが故の閉鎖性や密室性により、障害者虐待が起きやすい構造にあることも指摘されている。グループホームの生活の様子を地域の方に見ていただき、知っていただくとともに、障害者虐待防止の取組み、金銭等管理の仕組み、利用者からの苦情受付の仕組み、災害時への備えなどについてもご紹介することで開かれた事業所運営を目指していきたい旨の趣旨説明が行われた。 2 自己紹介 運営事務局及び参加者が各自自己紹介を行い、管理者よりそれぞれの立場・役割についての説明が補足された。 3 事業説明 管理者より利用者が安心して生活するための仕組みとして、世話人体制や運営センターによるサポートの現状を紹介し、続けて金銭等管理の仕組みや職員との情報共有及び人材育成に関する事項について説明された。 4 事業所見学 サービス管理責任者が事業所内を案内し参加者に見学していただいた。利用者 Aからは自分で出来ることは自分でやっているが、通院や部屋の片づけ、お金の管理などはサポートしてもらっている旨、説明があった。また、隣の部屋の利用者が出		

す音がうるさいなど、落ち着かなくなることはあっても、お互い様で慣れている、との感想があった。

5 質疑応答

連携施設利用者家族より、世話人体制がしっかりと組織されていることで安心感があるとの感想をいただいた。ホームによっては、週末は必ず家族の元に帰ることが条件となっている所もあり、週末の支援体制の重要性が指摘された。

また、入居者が自分では難しいことを、世話人に手伝ってもらえるのはありがたい、との発言もあった。サービス管理責任者より、入居者と世話人とのかかわりの頻度や、自立支援の捉え方にも言及しつつ、入居者ご本人の意思決定をホームの現場でも具体的な支援に取り組んでいることなど、話題の広がりを感じる質疑となった。

6 閉会挨拶

管理者より、貴重な意見交換となったことへの感謝を述べ、定刻で閉会した。